



新春座談会

農林漁業を 未来へつなぐ

本市の基幹産業であり、食文化創造都市の根幹である農林水産業。これから更に発展させていくためには、未来を担う若手就業者の存在が不可欠です。

市では、夢を持って新しいことに挑戦できる魅力ある農林漁業と活力ある農山漁村を目指し、人材の育成や確保に必要な支援を積極的に行っています。

今回は鶴岡市の未来の農林漁業を担う6人の方と市長が語り合いました。

一同 明けましておめでとうございます。

市長 今日は鶴岡市の未来の農林漁業を担う6人の方にお越しいただきました。私自身、大泉地区の農家の生まれで、以前は農林水産省で働いていましたので、農林漁業には強い思い入れがあります。

鶴岡は、山々に囲まれ、庄内平野が広がって、そして日本海があり、山里海それぞれが日本遺産に認定されている歴史ある町です。また、それらは、食文化創造都市の基盤でもあります。この風土に根差した人材育成という面でも、農林漁業・農山漁村は大切であり、元気にしていくことが不可欠です。

今、原油や肥料の価格が高騰し、農林漁業の現場にも、これまではなかった課題も出てきていますが、その現場で働いている6人の若い皆さんとお話しができることを楽しみにしていました。ぜひ様々なご意見をお聞かせください。

司会 始めに本市の農林漁業の概要を説明します。

まず農業では、令和2年の農業産出額が約307億円で、県内で1位、東北地方で4位、全国では約1、700ある自治体の内25位となっています。昭和60年には今の約1・5倍の450億円の農業産出額があり、水稲がその内の7割を占めています。それが令和2年では、水稲と果

樹・野菜などの園芸作物が半々ぐらいいと、構成比が大きく変わってきています。

基幹的農業従事者は、毎年約160人が辞めている一方、新規就業者が毎年約40人〜50人おり、一時期に比べ増加傾向にあります。

また、林業については、本市の場合、地域の約73%が森林で、面積は約9万6、000ha、その内の48%が民有林です。林業を行う経営体の数は、平成22年で892ありましたが、令和2年では88となっていて、10年で約10分の1にまで減っています。

現在は、森林組合などの林業事業体を中心に、令和元年度に交付が始まった森林環境譲与税を活用しながら、林業の再興に取り組んでいます。

漁業については、地球温暖化などで自然環境が変化していることもあり、漁獲額が減ってきている状況にあります。一方で、魚価単価は上がっており、市では、カナガシラやノロゲンゲ等の低利用魚の流通拡大を図るなど、市場の活性化に向けた取り組みを進めています。

漁業者の数は、減少している一方、この10年では年間5人〜6人の方が新たに就業しています。

農林漁業に就こうと 思っただきっかけ

司会 皆さんが現在の職業に就こう

わたなべ の ぶこ
渡部 信子さん

平成26年に就農。齋地区で若手農業者を中心に地域の農業に取り組む「農事組合法人IWC」に昨年加入



さいとう ゆうすけ
齋藤 雄介さん

平成25年に就農。羽黒地域で約10haの面積で稲作を行う。先日開催の「鶴岡ごはん日本一」で最優秀賞



くろい りょうこ
黒井 涼子さん

埼玉県出身。櫛引地域の農家に嫁ぎ、認定農業者の夫とともに農業に従事。やまがた農業女子ネットワーク所属



ほしな たくや
保科 拓也さん

大学卒業に合わせてUターン。京田地区で農業を営む父から経営を継承するため、現在農業研修を行っている



しぶや みどりさん

出羽庄内森林組合職員。山大農学部で林学を専攻。森林施業プランナーとして森林経営計画作成に携わる



いせき りょうへい
伊関 領平さん

宥仁三郎の船頭として定置網漁業に従事。庄内の漁業者ではいち早く陸上水槽でのヒラメの蓄養実験を行う



皆川 治

鶴岡市長



【司会】

鶴岡市農林水産部長
佐藤 龍一

と思ったきっかけをお聞かせください。
渡部 元々家が農家で9年前に就農しました。以前は会社勤めをしていたのですが、辞めたタイミングで父に「農業を継いでほしい」と言われたことがきっかけとなりました。昨年の春から農事組合法人IWC(齋・ワーキング・コーポレーション)に参加し、組織の中で勉強させてもらっています。

「農業を始めるのはうれしいことだと感じています。」
黒井 私は埼玉県の非農家の生まれで、神奈川県で鍼灸マッサージ師をしていましたが、30代半ばを過ぎた頃、本当に自分がしたいことは何なのかと考えるようになったんです。

そのとき頭に浮かんだのが、母の出身地である三川町で祖父母と一緒に畑や田んぼに出て手伝いをしたり、満天の星を見て感動したりしたことでした。農業がしたくて、長野県と山形県で移住先を探していたとき、こちらの親戚から「こつちに来たら？」と言われたこともあり、庄内に何回か来る中で夫と出会い、希望だった農業に就くことができました。
保科 私の家は、父が1人で農業をやっていました。水稲と枝豆と花きを栽培していて、1人で全てできるような仕事量ではなかったのですが、子供の頃から時間があれば手伝っていた

面積の単位に関する豆知識



- 1 畝(せ) = 30坪 = 99.174㎡
 - 1 反(たん) = 300坪 = 991.74㎡
 - 1 町(ちょう) = 3,000坪 = 9,917.4㎡
 - 1 a = 100㎡
 - 1 ha = 10,000㎡ (100a)
- つまり、1町 ≒ 1ha で、1畝 ≒ 1a
※広さを表す際によく比較で使われる「東京ドーム」は46,755㎡で約4.7町。

ました。大学時代は一般企業への就職を考えていましたが、幼い頃から触れてきた農業への思いが捨てきれず、父に農業を継ぐと伝えました。来年には父から経営を継承することを先に決め、今はいろんな所で研修をさせてもらっています。

渋谷 鶴岡市には出羽庄内と温海町の2つの森林組合があります。私が勤める出羽庄内森林組合は、旧鶴岡、櫛引、朝日、羽黒、藤島、庄内町の立川地域の森林を管轄しています。私は、山大農学部出身で林業について学んできました。学生時代に高館山や朝日地域にある上名川の演習林に足を運び、様々な研究をしていく中で、地域の自然環境保全に貢献したいという思いが強くなりました。

森林組合は植林から保育、伐採まで一連の作業に携わることができ、また、森林所有者の方々の身近な存在として意見を聞きながら山の整備ができる職業です。その点に魅力を感じ、地元の森林組合に就職することを決めました。

伊関 私は野球が好きで、高校までずっと野球をやってきました。高校3年の夏の大会で敗退して、しばらくぼーっとしているところに、先代である父から「暇ならちよっと手伝ってみるか？」と誘われました。それまで父からは一度も後継ぎだと言われたことがなかったので驚きましたが、手伝ってみたところ、これが面白かったんです。

その後、自分の家の船にすぐ乗りたいと伝えたのですが、一旦別の船で修行してこいと言われ、石川県の大型定置網の会社で3年ほど修行した後、戻ってきて今に至ります。

市長 農林漁業は自然環境とともにあり、それを守っている職業なので、本当に大事な仕事です。この世界に入って働くことはすばらしいことです。私も行政という分野ではありませんが、鶴岡の農林漁業を未来につなぐため、皆さんのような方たちをしっかりと支えていきたいと考えています。

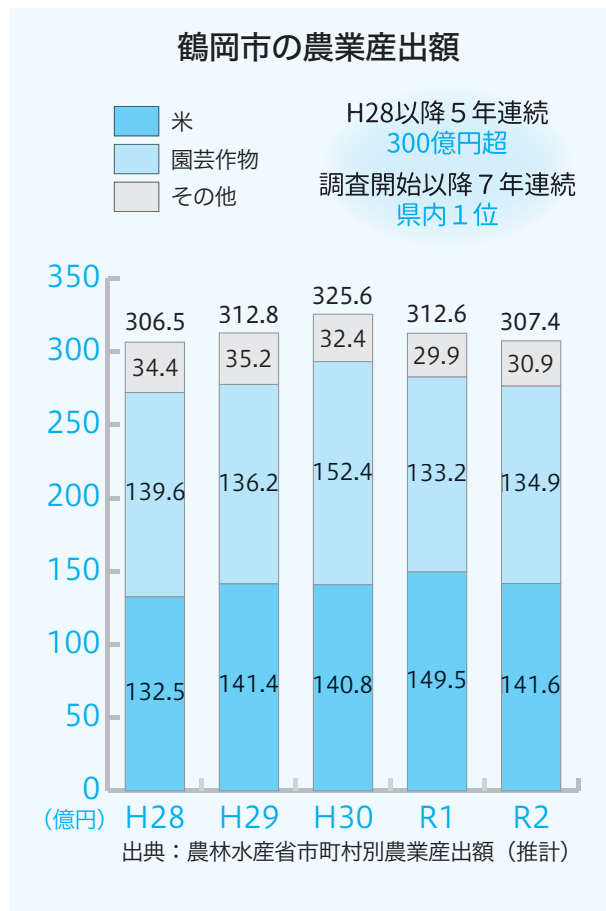
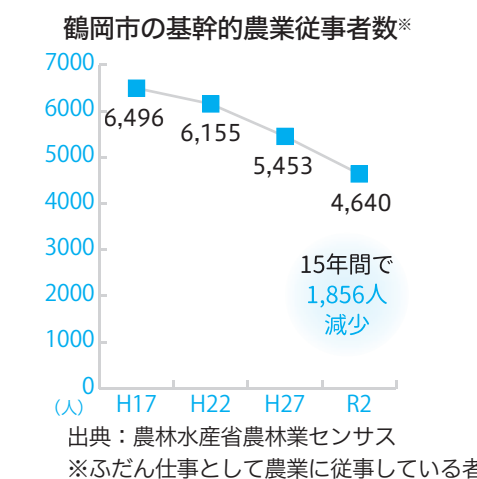
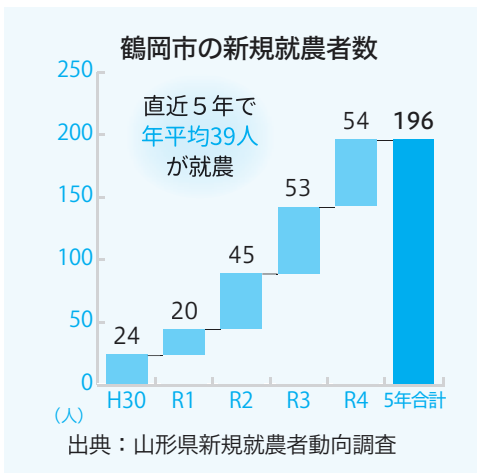
私自身も、漁業の応援をしながら、地域の皆さんと一緒に頑張って農業や林業に携わっていききたいですね。

不安もあるけど 魅力もある

渡部 農協に出荷した枝豆を食べた方から昨年お手紙が届いたことがありました。送り主が川崎市の方で、特に私の作った枝豆だから買ったというわけではないようですが、「すごく形が綺麗でおいしかった」と書かれた手紙でした。時間に追われながらの収穫で嫌になることもありましたが、知らない人からのそのような言葉に、選別を頑張ってやってよかったなと改めて思いました。

米も作っているのですが、値段が安定せず、このまま同じ面積を作っ

グラフで見る鶴岡市の農林漁業



／ 頑張る若手農家を応援！ ／

「鶴岡ごはん日本一」を開催

若手農家の応援と、全国有数の米どころ鶴岡をPRするため、就農10年以下の市内農業者を対象とした米の食味コンテストを初開催。

最優秀賞には齋藤雄介さん（出品品種：ひとめぼれ）が輝き、副賞で新車の軽トラックが贈られました。



「あれやったらいいあんなね」などの意見を聞けるので、もっと勉強してやってみようと思います。

それから、まだ農業女子って少ないじゃないですか。こんなに近くに黒井さんのような方がいることを知ってうれしく思います。

齋藤 私は自然が好きなんですけど、農業は自然好きにはたまらないと思います。ふいに田んぼで見つけたイモリを子供に見せたらすごい喜んでます。おもちゃを買うのはどこで

もできますが、こんなことはめつたに経験できることじゃないですよ。

それから、アスパラガスはスーパーマーケットで買っているという知り合いに、自分が作った物を食べてもらったら、「量も多いのに安くて、こんなにおいしいアスパラガスは食べたことがない」と言ってもらえたんです。作った人と食べる人がつながるのは大切だと思いますし、やりがいを感じます。

燃料や肥料の価格が高騰し、経費が掛かることに多少の不安はあります。だからこそ、1俵でも2俵でも多く、また、少しでも高く売れるよう、米を作る技術を伸ばしていけれ

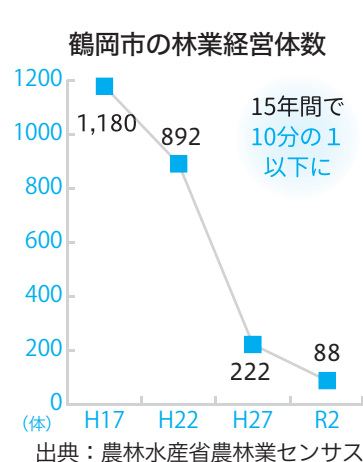
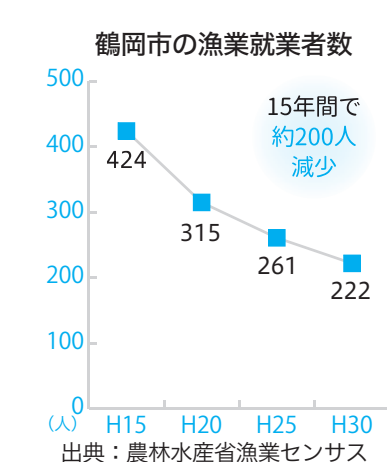
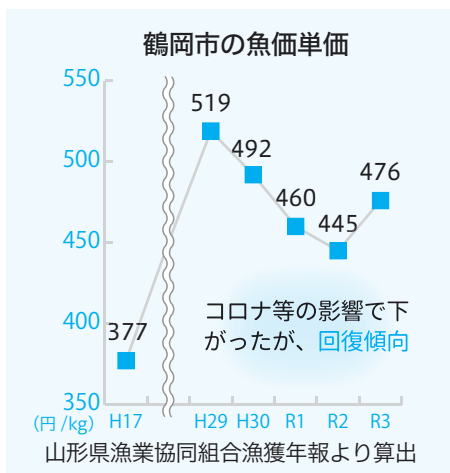
ばと思っています。実際簡単にはいかず苦労していることではあります。人とのつながりを広げている人々と話をすれば、ポジティブに考えられるようになると思うんです。失敗も共有できれば、また頑張ろうというきっかけになる。そこを大事にしたいです。

司会 齋藤さんが就農10年未満の農家のお米のコンテストで優勝したのは、その成果が出たのだと思います。

黒井 自分が作って収穫したものを食べてもらって喜ばれる職業ってなかなかないですよ。地元の埼玉県や勤めていた神奈川県の人に送ると「こんなに新鮮な物を日々食べていられるって幸せだね」って言ってくれて、私の喜びになっています。

また、パートで週2回勤めている保育園に小さい畑があり、そこでは野菜の先生ということで、栽培する野菜の話をしたり、傷まない採り方などを教えたりすると、子供たちが楽しそうに作業をするんです。農業って子供たちに笑顔をもたらしてくれるんだなと感じています。

不安だったことは、本格的に農業をやるのが初めてだったため、農業についての家族の会話内容が初めは全然理解できなかったことです。分からないことがあっても聞いて、その説明が初心者には何を言っているのか分からなかったり。それで、ほかの人に聞きたいと思ってどこに



行けば聞けるのかも分からなくても、
んもんとしていた時期がありました。
そういった始めたばかりの農業従事
者が気軽に相談できる窓口があると
いいなと思いました。

それから子育て。農業をやっている
同年代のお母さんがいなくて、育
休産休がない農業と子育ての両立は
どうすればいいのか1人で悩みなが
らの毎日でした。

保科 研修先で研修日誌と自分の家
の作業日誌を書いているのですが、
それとは別にSNSにその日やった
ことを日記のような形で投稿してい
ます。それを見た大学時代の友達に
「枝豆をうちにも送ってよ」と言わ
れることもあって、自分で作って良
かったと思いました。

不安に思っているのは、今後担い
手の方々から委託されることが増え、
おそらく10年後には1軒で受け持つ
面積が今の数倍になると思われるこ
とです。もちろん米や枝豆もやりた
いのですが、花に一番興味を持って
いて、でも、大規模化していくと作
業量的に今の人手だけでは花はでき
ないんです。そこをどうにかでき
たらと考えています。

渋谷 手入れが進まない山を組合員
に頼まれて整備をして見違えるよう
に奇麗になったとき、山主から「組
合に頼んで良かった」と言ってもら
えるとやりがいを感じます。

一方で、山が奇麗になっても採算

が取れなければ林業として成り立た
ないので、維持管理が難しくなっ
ています。木材価格が下がり、補助金
なしでは整備が難しい状況です。そ
のような中でも山の整備計画を立て
て、所有者の林業を手助けしたいと
いう気持ちで携わっています。

大きな課題として、山の所有者の
山への関心が薄れていることがあり
ます。高齢化が進んで、世代が変わ
ったときに「山を持つていないら
いけど、どこにあるのか分からない」と
相談に来られる方も多く、所有地
が確定できず整備につなげることが
できないこともあります。

伊関 石川県での修行後に帰ってき
たとき、山形県の漁業は昔ながらの
やり方を続けているという印象が感
じられました。鶴岡は良い魚が獲れ
るので、時代に合わせて変化させれ
ばもっと良くなると思ったんですね。
そこでまず販売の仕方を強化する
ことを考えました。山形県だと漁協
が市場を開いて、競り人となり、仲
買人に魚を売るというシステムです
が、自分が獲ってきた魚の評価がな
く、良いのか悪いのか分からないん
です。その頃は魚価単価も低迷して
いましたし。それで、築地市場で取
引していた先輩の力を借りて、時価
で取引するという形を採ってみまし
た。全国レベルで見ると、山形県の魚
はどうなのか知りたくて聞いたとこ
ろ、最初は散々言われましたね。

地元に戻ってきて、これはどうに
かしないと鶴岡の定置網漁業は駄目
になるといふ思いで必死になって突
つ走ってきた結果、現在ではかなり
高い評価を頂いています。という話
をしながら、自分が獲ってきた魚を
妻や子供に「おいしい」と言っても
らえるのが、一番うれしいことだ
と実感しました(笑)。

市長 皆さん天候や市場環境の変化
という課題に向き合いながら、努力
されているということが伝わってき
ました。その中で、皆さんがやりた
いことに対するサポートが必要だ
と思います。難しい局面を迎えたとき
に、私たち行政が、現場で頑張っ
ている皆さんに的確に寄り添っていか
なければいけないですね。農林
漁業者が減ってきているので、相談
しようにも周りに適切な人が見当た
らないという切実な課題もあります。
志ある方々をしつかり結び付けてい
くような取り組み、支援策が必要だ
と感じました。

それぞれが考える これからのこと

渡部 私は作付面積が6・5町歩く
らいなんですけど、面積が小さいた
め手を挙げられない支援策がほとん
どで、残念に思っています。大体が
10町歩以上とか。でも面積を増やす
と草刈りする場所も増えるので、私
1人でやるには大変なんです。小規

模農家にも使える補助金などができ
ることを期待しています。

斎藤 私は米だけで100町歩を
営営することが夢です。地域の人たち
から「若くて頑張っているな」と言
われるんですけど、多分仕事量はみ
んなと変わらない。評価されている
のは若いつてことだと思っ
この先このままでは何も評価されな
くなる。そのためにも新しい技術
を用いて100町歩の面積にチャレン
ジして、本当の意味で農業者として
評価されるようになりたいです。平
地ではないので大変なこともありま
すが、この地でできることを考えた
り、ほかの所から学んだりしながら、
自分の農業を続けていけたらと思っ
ています。

黒井 私たち夫婦は事業を継承して
7年目になります。櫛引地域はフル

農業情報メールマガジン

「つるおか・アグリメール」

市では、農業者向けの補助事業の募集
や、セミナー・研修会の案内、各種注
喚起など、有益な情報をお届けするメ
ールマガジンを無料で配信しています。

■配信者 本所農政課 ☎35-1295

※登録方法等詳しくは
市ホームページ。



市では国や県と協調し、新たに農業・漁業を始める方を支援します。主な支援策を紹介します。

農業 就農段階ごとに支援します！

就農準備期

- 鶴岡市新規就農者研修受入協議会
受入農家での農業技術研修の実施をサポート
- 農業経営者育成学校「SEADS (シーズ)」
農業技術や経営について座学や実習を通じて2年間研修



- 就農準備資金
研修期間中の研修生に対して資金を助成
▷最大年150万円、最長2年間、49歳以下

就農初期

- 経営開始資金
新たに経営を開始する方に資金を助成
▷最大年150万円、最長3年間、49歳以下
- 経営発展支援事業
就農後の経営発展に係る機械導入等を支援
▷補助率4分の3（上限750万円）、49歳以下

つるおか新規就農者育成プロジェクト支援事業

- ①小規模機械・施設等取得支援（上限50万円）
 - ②機械・施設リース支援（上限5万円）
 - ③農地賃借料支援（上限9万円）
- ▷①～③のいずれも補助率3分の1

成熟期

農業用機械・施設の導入や6次産業化の支援等、様々な支援策がありますので、気軽にご相談ください。

【問合せ 本所農政課 ☎35 - 1295】

漁業 オーダーメイド型で支援します！

- 漁業者確保・育成総合支援対策事業
研修生の転居費用（上限10万円）や家賃（上限月2万円）を支援
- 水産業成長産業化支援事業
独立時の漁船購入や意欲的な設備導入等を支援
▷補助率2分の1（上限600万円）



【問合せ 本所農山漁村振興課 ☎35 - 1298】

1ツタウンで、新規で就農する方も果樹を選ぶ方が多く、専業で米をやる方は数えるほどしかいません。そのため私の家も徐々に手掛ける面積が増えていきます。今後面積を増やしていくと、やはり人手が必要になってきます。自助努力だけでは賄えない部分が出てくると思うので、行政の力も借りられたらと思っています。例えば市で収穫体験など農林水産業の仕事を経験できる機会やツールを作っていただく。それを通して興味を持ってもらいながら、そこから仕事にという流れになる可能性もあると思うんです。

保科 実は夢がありまして、京田地区全体の田んぼを1つの法人として取り扱うことです。そして京田地区で採れたお米を京田の皆さんに食べていただきたいと考えています。

それから、私のような親元就農が担い手として一番期待されていると思うんです。シーズや新庄市にある農林大学校で新規就農者の方々とお話しする機会があるのですが、ほとんどの人が園芸作物など、水稲に比べ初期投資が少ない作物を選んでいます。先ほども言ったとおり、この先大規模化の流れが来たときのことを想定し、新規就農者向けに大規模化を目指すような施策があれば、田んぼをやる新規就農者が増えるのではないかと思います。

渋谷 林業も、やはり行政との連携



はとても重要だと考えています。鶴岡市は県内の中でも特に造林や保育に力を入れてくれていますので、組合としても所有者の方々にアピールして、もっと森林環境譲与税を活用してもらおうことで持続可能な林業経営につなげられたらと思います。

また、鶴岡市は森林文化都市でもあるので、地域の木材を使って公共施設の建設をしていただいています。公共施設はより多くの人の目に触れ、若い人たちが関心を持つことにつながると思っていますので、今後地域域の木材を活用していただきたいです。

私たちが森林組合の職員も若い人たちにとって林業が魅力ある職業になるように、また、子供たちが憧れる職業になるように頑張っていきたい

と思います。

伊関 水産業も6割以上が60歳以上で、10年後には港に人がいなくなるような状況です。漁業者が減り、国内の漁獲物は減っていますが、消費者の皆さんに魚を届けなければならぬので、海外から魚を仕入れていく状況です。逆に日本で獲れた魚は、和食ブームもあり海外の需要が高くなっています、弊社のサクラマスも95%は北米に輸出されているんです。

経営も担っているので割り切つてやる部分もありますが、地元へ海があるのに地元の人が地元の魚を食べられないという状況をどうにかしたいという思いもあります。地場の魚をいかに適正な価格で地元の人に届けるか。それをこの10年で方向付けしていくことが必要だと考えています。その際は行政とも一緒に取り組めばと思いますので、ぜひ支援をお願いします。

市長 今日は皆さんから今後の農林漁業施策につながるような貴重なお話を聞くことができました。行政への期待も感じましたし、私を含めほとんどん行政に相談していただくということが大事ななだと思います。

農業で言えば、今は小規模でもやる気のある方を、人・農地プランで担い手に位置付け、前向きな経営改善を後押ししていくことが市としてできることではないかと思っています。水稲を集中的に大規模でやりたい方

に対しても、人材や機械の手当てなどについてしっかりサポートしなければいけないですね。

林業の場合、令和6年からは森林環境譲与税が1億円交付されます。まず境界の明確化を図るなど有効に活用して、高性能林業機械の導入なども含め、体制の構築に取り組むことが必要になってきます。

漁業も就業者が減少している状況の中、個々の漁業者だけでは対応できないこともあります。漁業者の経営安定につながるような施策を進めていく必要があると思います。

鶴岡市は食文化創造都市です。皆さんのような1次産業の方々が出て初めて食文化が成り立ちます。同時に農林漁業の担い手は農山漁村のコミュニティの担い手でもあります。

皆さんには、産業を守りながら地域も守る“ということをしていただいているわけです。鶴岡市全体がもつと盛り上がるよう、皆さんのますますのご活躍を期待しています。

最後に、今各自自治体がふるさと納税に力を入れていて、本市では農林水産品が返礼品の大きなウエイトを占めています。ふるさと納税も農林漁業者の皆さんには販路の一つでありますので、ぜひ参画していただければと考えています。

皆さん、本日はありがとうございました。

一同 ありがとうございました。



❖ 気軽にご参加を！
❖ 生産者の皆さん、企業の皆さん
 ふるさと納税の返礼品を募集しています。

ふるさと納税は、あなたの魅力ある農林水産物、加工品、サービスの新たな販路拡大や情報発信につながる取り組みです。

昨年度は、本市に対し9万6,000件、14億6,000万円のふるさと納税があり、この3年間で3倍に伸びています。市では、子育て支援や産業振興施策などの財源として大切に活用しています。

返礼品は、市内で生産・加工されたもの、宿泊など市内で行われるサービスなどが対象です。市では、相談会を定期的に行っているほか、個別のご相談、打合せも行っています。気軽に担当課までご連絡ください。

【特に大募集の品目】

つや姫や、サクランボ・桃・砂丘メロン・ブルーベリー・ブドウ・干し柿などのフルーツは大人気のため、市では取扱量の拡大を目指しています。



詳しくは
市ホームページ



鶴岡市ふるさと納税
マスコットキャラクター
「つるまるくん」

【問合せ】

- 本所総務課 ☎35 - 1114
- 藤島庁舎産業建設課 ☎64 - 5803
- 羽黒庁舎産業建設課 ☎62 - 2527
- 櫛引庁舎産業建設課 ☎57 - 2114
- 朝日庁舎産業建設課 ☎53 - 2117
- 温海庁舎産業建設課 ☎43 - 4616